

BEET JAPAN

BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II

KAWASAKI Ninja1000SX ('20 '22) パニア

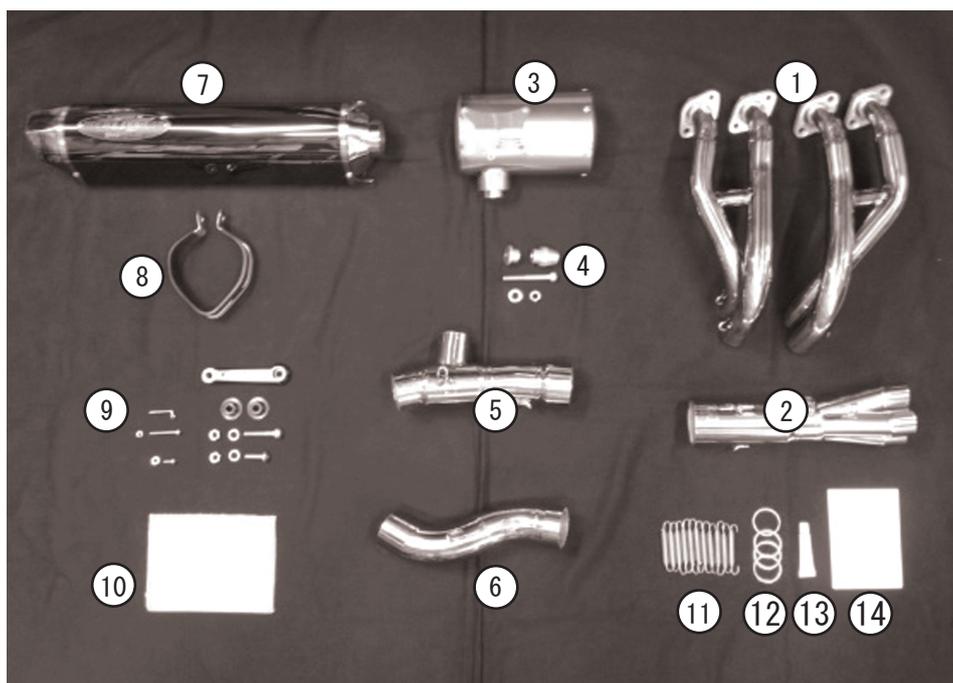
適合型式 | 2BL-ZXT02K , 8BL-ZXT02K

取扱説明書

▲ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めて下さい。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



1	エキパイ	8	サイレンサーバンド
2	集合部	9	サイレンサーステーセット
3	サブサイレンサー	10	遮熱シート
4	サブサイレンサー取付セット	11	スプリング
5	テールパイプ①	12	エキパイガasketセット
6	テールパイプ②	13	耐熱シリコン
7	サイレンサー	14	保証書セット

I ノーマルマフラーの取り外し

※詳しくはサービスマニュアルを参照してください。



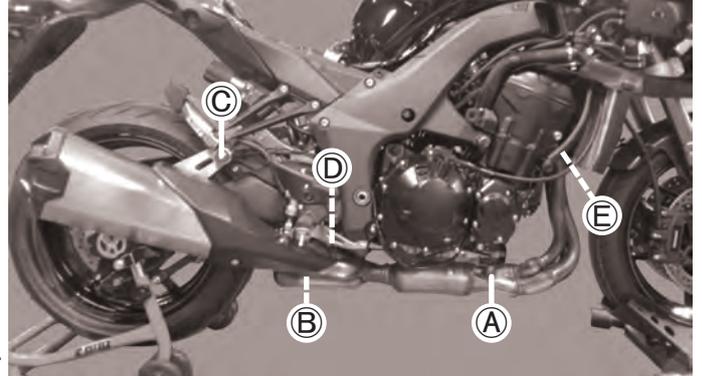
注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。

HINT

ノーマルマフラーは重量が重いのでジャッキ等を使用することをおすすめします。

- アンダーカウルを取り外します。
- A0₂センサーを取り外します。
- Bクランプボルトを緩め、
Cボルトを外しサイレンサーを取り外します。
- マフラー本体下部をジャッキ等で支え
Dボルト、Eナットを外しマフラー本体を取り外します。
*EナットはBEET ナサートマフラー取り付け時使用します。



II ナサートマフラーの取り付け準備 1

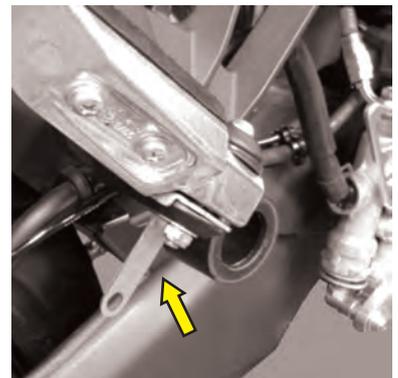
【サイレンサーステー取り付け】



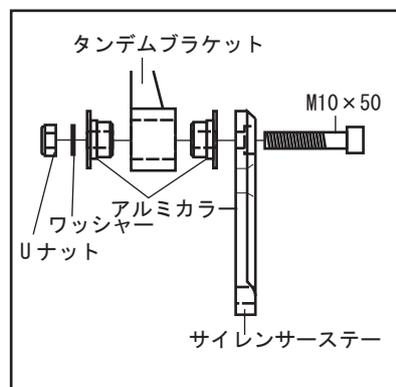
- 右側タンデムステップのクリップとピンを取り外します。



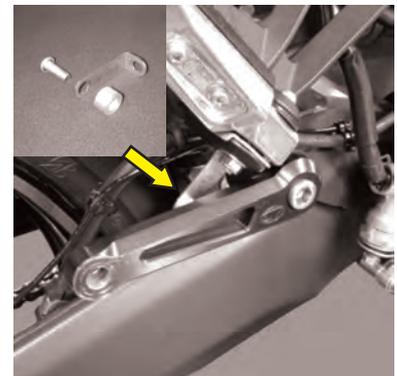
- 付属のボルト、ナットを使用して補助ステーを取り付けます。



- ダンパーカラー、ラバーを取り外します。



- 図のようにサイレンサーステー、補助ステーを取り付けます。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

【エキパイ、集合部の取り付け】

- エキパイと集合部を組み立てます。
- スプリングを取り付けます。
- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。

- エキパイガスケットを付属に交換します。

HINT 耐熱シリコンを少量塗っておくと落下防止になり取り付けやすくなります。

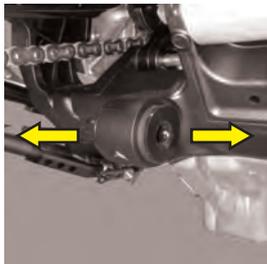
- ノーマルのナットを使用してエキパイを取り付けます。仮止めの状態にしておきます。



HINT

集合部のジョイント部分は高精度に出来てますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。

【サブサイレンサー、テールパイプ①の取り付け】



- マフラー取付フレーム下部のダンパーカラー、ラバーは取り外して付属のアルミカラー（黒色になります。）を取り付けます。

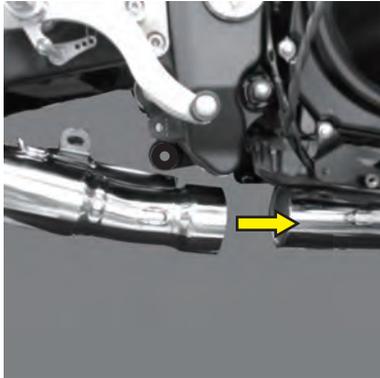


- テールパイプ①にサブサイレンサー、スプリングを取り付けます。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

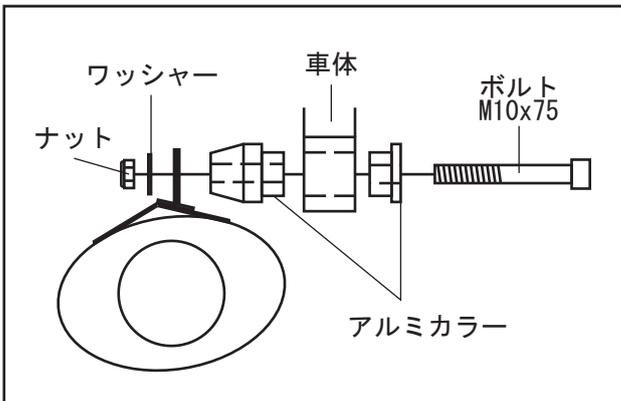
【サブサイレンサー、テールパイプ①の取り付け】



●テールパイプ①、サブサイレンサーを取り付けます。



●ステーボルト、スプリングを取り付けます。



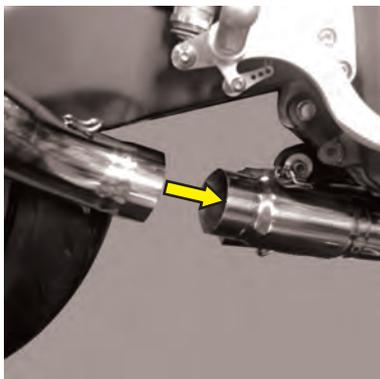
●ステーにボルト、ナットを取り付けます。

※仮止めの状態にしておきます。



●オイルパンと接触しないように調整します。

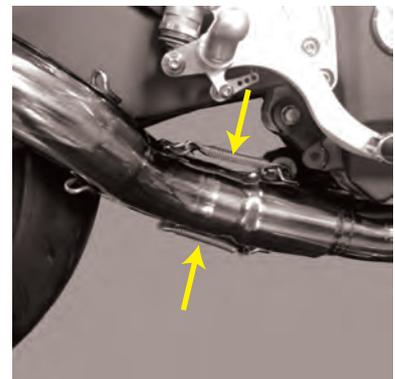
【テールパイプ②の取り付け】



※耐熱シリコンを少量塗布します。



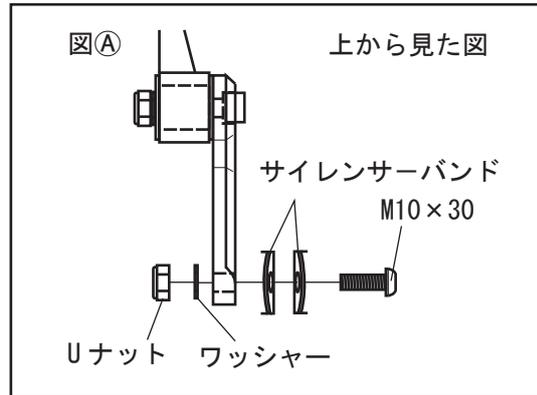
●サイレンサー取付時振りを調整します。



●スプリングを取り付けます。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 3

【サイレンサーの取り付け】



●サイレンサー、スプリングを取り付けます。

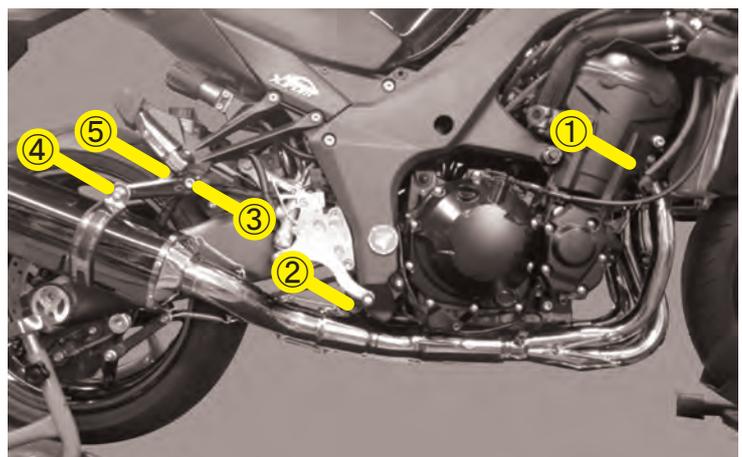
●サイレンサーにサイレンサーバンドを通し、サイレンサーバンドを図Aのように取り付け、仮締めしておきます。



【本締め】

次の順で本締めしていきます。

- ①エキパイフランジナット
- ②フレームとサブサイレンサーステー
- ③タンデムブラケットとサイレンサーステー
- ④サイレンサーステーとサイレンサーバンド
- ⑤補助ステー取付ボルト

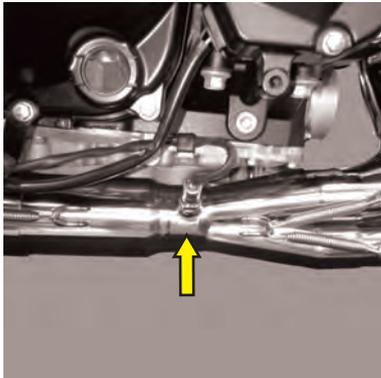


①エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 4

【O₂センサー取付】

- 写真のように取付け元通りに結線します



【パニアケース取付確認】

- パニアケースとサイレンサーのクリアランスを確認します。



- 必要に応じてパニアケース裏側に遮熱シートを貼って下さい。

【カウル取付】

- カウルを元通りに取付します。

【最終確認】

- マフラーがエンジン、車体、カウルと接触しないか確認します。
- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。

⚠ 油分が付いたままマフラーに熱が入ると焼き色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。

⚠ エンジンを始動する時は、換気の良い所で行ってください。

- 全てのボルト、ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。